6. OSD(On Screen Display)機能の使い方

SIGMABLADEモニターファームウェアに内蔵しているOSD(On Screen Display)機能を起動することに よって、以下の機能を利用することができます。操作はブレード収納ユニットに接続したPS/2キーボードか ら行います。

- ラック、ブレード収納ユニット、CPUブレードの名称、KVM(Kevboard・Video・Mouse)の選択状態、 DVD/USBの選択状態、CPUブレードの状態を表示します。
- KVMとCPUブレードとの接続を選択して切り替えることができます。
- ブレード収納ユニットに搭載されているDVD-ROM、前面USBポートとCPUブレードとの接続を選 択して切り替えることができます。
- CPUブレードのスイッチ操作をOSDメニューから行うことができます。
- ラック、ブレード収納ユニット、CPUブレードの名称を変更することができます。
- KVMが接続されているCPUブレードの名称をディスプレイに常時表示することができます。

OSDの表示モードには以下の3つのモードがあります。

OSDメニューモード

ディスプレイ画面にOSDメニューを表示し、キーボード入力によってOSDの各種機能を操作します。

OSD簡易モード

ディスプレイ画面に現在KVMが接続されているCPUブレード名を表示し、キーボードからCPUブ レードが実装されているスロット番号を直接入力してKVMの切り替えを行います。

サーバ名常時表示モード

OSD簡易モードでサーバ名の常時表示/非表示機能をONに設定することによって、ディスプレイ画 面に現在KVM が接続されているCPUブレード名を常時表示することができます。 常時表示/非表示どちらのモードでもOSDメニューモード、OSD簡易モードを起動することができ ます。



ブレード収納ユニットにはビデオ信号ジェネレータを内蔵していますので、KVM接続先の CPUブレードが電源OFFの状態でもOSDによる画面表示が可能です。この場合の解像度は 640x480固定となります。



EMカードが正しく接続されていないか正常に動作していない場合、CPUブレードにKVM、 DVD/USBを接続することができません。

EMカードが正常に動作していることを確認してください。

OSDメニューモード

OSDメニューモードはメインメニューと各コントロールメニューから構成されます。 OSDメニューモードを起動するとメインメニュー(Blade Selection Menu)が表示されます。



- ① メニュータイトルを表示します。
- ② ラック名、ブレード収納ユニット名を表示します。
- ③ メインメニューではKVM選択、DVD/USB選択、CPUブレードの状態、CPUブレード名を一覧表示 します。各コントロールメニューではメニュー項目リストを表示します。
- ④ 操作キーの説明、各コントロールメニューでの入力項目などを表示するウィンドウです。

OSDメニューモードの起動

キーボードからホットキーを入力し、OSDメニューモードを起動します。 ホットキーの設定はOSDメニューモード、または、SIGMABLADEモニターのOSDセットアップメ ニューで変更可能です。

● ホットキー選択可能キー

OSDメニューモードを起動するホットキーは下記の2種類から選択できます。 <Scroll Lock> キーを2回連続で押下して離す(キーは素早く押してください) <Ctrl>, <Alt>, <Shift>の3つのキーを同時に押下して離す。

● 操作タイムアウト

約1分以上キーボード操作がない場合、OSDメニューモードを終了します。



OSDメニューモード動作中はOSDの操作にキーボードを使用しますので、CPUブレードで動作しているオペレーティングシステムなどをキーボードで操作することはできません。操作したい場合はOSDメニューモードを終了してください。マウスによる操作はOSDメニューモード動作中も可能です。

OSDメニューモードの操作

OSDメニューモードには大きく分けて以下の5つのメニューがあります。

- Blade Selection Menu(メインメニュー)
- Blade Control Menu
- Rack Control Menu
- Enclosure Control Menu
- OSD Setup Menu

Blade Selection Menu (メインメニュー)

OSDメニューモードを起動した場合に表示されるメニュー画面です。

KVM、DVD/USBの選択状態、CPUブレードの状態、CPUブレード名、ラック名、ブレード収納 ユニット名を表示します。

KVM/DVDの接続切り替え操作、各メニュー項目の起動操作を行います。

		Bla	ade Selection Menu
Rack	Name	Defau	ult_Rack_Name
Enclos	ure Name:	Defau	ult_Chassis_Name
KVM	DVD/USB	Power	Blade Name
-	EM	-	-
Slot1	<u>Slot1</u>	ON	Blade-01
Slot2	Slot2	ON	Blade-02
Slot3	Slot3	0FF	Blade-03
▶Slot4	Slot4	ON	Blade-04
Slot5	Slot5	ON	Blade-05
Slot6	Slot6	0FF	Blade-06
Slot7	Slot7	0FF	Blade-07
Slot8	Slot8	NONE	Blade-08
†∔:Sele	ct, ↔∶K\	/M/DVD/	/Blade Select, Enter:Set, Esc:Exit
F1:0SD	Setup		
🕨 : Curs	or Positi	on	

画面表示

表示項目	説明
Rack Name	ラック名を表示します。
Enclosure Name	ブレード収納ユニット名(エンクロージャ名)を表示します。
KVM	KVM選択状態を表示します。 選択されているCPUプレードのスロット番号の背景が青色で表示されます。
DVD/USB	DVD/USB選択状態を表示します。 選択されているCPUブレードのスロット番号、または、EMの背景が青色で表示 されます。EMはEMカードを示します。
Power	CPUプレードの状態を表示します。 ON: CPUプレードの電源がONの状態 OFF: CPUプレードの電源がOFFの状態 NONE: CPUプレードが接続されていない状態 N/A: CPUプレードの状態が不明の場合
Blade Name	CPUブレード名を表示します。

[Rack Name]、[Enclosure Name]、[Blade Name]はEMカードから設定されます。
 EMカードが正常に動作していない場合は以下の初期値が表示されます。初期値が表示されている場合はEMカードが正常に動作しているか確認してください。

Rack Name	: Default_Rack_Name
Enclosre Name	: Default_Chassis_Name
Blade Name	: Blade-01 ~ Blade-08

Express5800/120Bb-m6のような2スロット幅を占有する CPUブレードを実装した場合、実装した右側のスロットの Blade Name, Powerの表示は初期値のままです。また、後述する「Blade Control Menu」も右側のスロットでは使用できません。

使用キー	機能
<↑><↓><←><→>‡−	カーソルを移動します。
<enter>+-</enter>	カーソル位置でのメニュー操作を実行します。
<esc>+-</esc>	OSDメニューを終了します。
<r>‡—</r>	[Rack Control Menu]を起動します。
<e>=</e>	[Enclosure Control Menu]を起動します。
<f1>=</f1>	[OSD Setup Menu]を起動します。
<k>‡—</k>	KVM選択表示部の[Slot1]の位置にカーソルを移動します。
<d>, <u>=-</u></d>	DVD/USB選択表示部の[Slot1]の位置にカーソルを移動します。
<s>‡—</s>	Blade Name表示部の[Slot1]のブレード名の位置にカーソルを移動します。
<1>~<8>=-	[Slot1]~[Slot8]のスロット番号を直接選択する場合に使用します。

Blade Selection Menuの操作

項目	説明
KVM切り替え	[Slot1]~[Slot8]をカーソルで選択し <enter>キー押下で、選択したスロット番号 のCPUプレードへKVM接続を切り替えます。 または、KVM選択表示部にカーソルがある状態で<1>~<8>キーを押下すると 指定したスロット番号のCPUプレードに接続を切り替えます。(*1)</enter>
DVD/USB切り替え	[Slot1]~[Slot8]または[EM]をカーソルで選択しくEnter>キー押下で、選択した スロット番号のCPUプレードまたはEMカードへDVD/USB接続を切り替えま す。 または、DVD/USB選択表示部にカーソルがある状態で、<1>~<8>キーを押下 すると指定したスロット番号のCPUプレードに接続を切り替えます。(*1)
[Blade Control Menu]の起動	Blade Nameをカーソルで選択し <enter>キー押下で、[Blade Control Menu]を 表示します。 または、Blade Name表示部にカーソルがある状態で、<1>~<8>キーを押下す ると指定したスロット番号のCPUプレードの[Blade Control Menu]を表示しま す。(*2)</enter>
[Rack Control Menu]の起動	Rack Nameをカーソルで選択し <enter>キー押下、または、<r>キー押下 で、[Rack Control Menu]を表示します。 (*2)</r></enter>
[Enclosure Control Menu]の起動	Enclosure Nameをカーソルで選択し <enter>キー押下、または、<e>キー押下 で、[Enclosure Control Menu]を表示します。 (*2)</e></enter>
[OSD Setup Menu]の起動	<f1>キー押下で、[OSD Setup Menu]を表示します。</f1>
OSDメニューモードの終了	<esc>キー押下で、OSDメニューモードを終了します。</esc>

*1: KVM、DVD/USB選択では選択されたCPUブレードの状態に関わらず切り替えを行い ます。ただし、現在選択されているCPUブレードのスロット番号、または、EMカードを 選択した場合は接続切り替えを行いません。

KVM接続先に電源OFF状態のCPUブレードが選択された場合、ブレード収納ユニットに内蔵しているビデオジェネレータによってOSD画面を表示します。解像度は640x480固定となります。

*2: メニューを表示する際にセキュリティパスワードの入力を要求します。

KVMの切り替え

[Blade Selection Menu]でKVMの接続を切り替えることができます。

KVM接続表示部で切り替えたいCPUブレードのスロット番号[Slot1]~[Slot8]をカーソルで 選択し、<Enter>キーを押下することで、KVMを選択されたCPUブレードに切り替えます。

<Enter>キーを押下すると一旦KVMを切り離し、約2秒後に選択したCPUブレードに接続します。この間画面表示がOFFになり、KVM接続後 [Blade Selection Menu]が再表示されます。

または、カーソルがKVM選択表示部の[Slot1]~[Slot8]のどこかにある状態で<1>~<8>キー を押下することで、指定したスロット番号のCPUブレードに接続を切り替えることができま す。

		Bla	ade Selection Menu	
Rack	Name	Defau	ult_Rack_Name	
Enclosu	re Name:	Defau	ult_Chassis_Name	
KVM	DVD/USB	Power	Blade Name	
-	EM		-	
Slot1	Slot1	ON	Blade-01	
▶Slot2	Slot2	ON	Blade-02	
Slot3	Slot3	0FF	Blade-03	
Slot4	Slot4	ON	Blade-04	
Slot5	Slot5	ON	Blade-05	
Slot6	Slot6	0FF	Blade-06	
Slot7	Slot7	0FF	Blade-07	
Slot8	Slot8	NONE	Blade-08	
↑↓∶Seleo	st, ↔:K\	/M/DVD/	Blade Select, Enter:Set, Esc:Exit	
F1:OSD Setup				
▶ :Curso	or Positi	on		



- EMカードが正しく接続されていないか正常に動作していない場合は、保護機能により KVMの接続を行なわない場合があります。操作したいCPUブレードを正しく選択して もKVMが使用できない場合はEMカードが正常に動作しているか確認してください。
 - CPUブレードの起動中にKVMを接続したり、切り離したりしないでください。CPUブレードが正常に起動できない場合があります。

DVD/USBの切り替え

[Blade Selection Menu]でDVDと前面のUSBポートの接続を切り替えることができます。

DVD/USB接続表示部で切り替えたいCPUブレードのスロット番号[Slot1]~[Slot8]、または [EM]をカーソルで選択し、<Enter>キーを押下することで、DVDと前面のUSBポートを選択さ れたCPUブレードまたはEMカードに切り替えます。

<Enter>キーを押下すると一旦DVD/USBを切り離し、約3秒後に選択したCPUブレードまたはEMカードに接続します。接続後、DVD/USB接続表示が切り替え後のCPUブレードまたはEMカードに変わります。

または、カーソルがDVD/USB選択表示部の[Slot1]~[Slot8]、[EM]のどこかにある状態で <1>~<8>キーを押下することで、指定したスロット番号のCPUブレードに接続を切り替え ることができます。

		Bla	ade Selection Menu
Rack	Name	Defau	ult_Rack_Name
Enclose	ure Name:	Defau	ult_Chassis_Name
KVM	DVD/USB	Power	Blade Name
-	EM		-
Slot1	Slot1	ON	Blade-01
Slot2	Slot2	ON	Blade-02
Slot3	Slot3	0FF	Blade-03
Slot4	▶Slot4	ON	Blade-04
Slot5	Slot5	ON	Blade-05
Slot6	Slot6	0FF	Blade-06
Slot7	Slot7	0FF	Blade-07
Slot8	Slot8	NONE	Blade-08
↑↓:Sele	ct, ↔:K\	/M/DVD/	/Blade Select, Enter:Set, Esc:Exit
F1:0SD	Setup		
▶ :Curs	or Positi	on	

∎-0 重要

- EMカードが正しく接続されていないか正常に動作していない場合は、保護機能により DVD/USBの接続を行なわない場合があります。操作したいCPUブレードを正しく選択 してもDVD/USBが使用できない場合はEMカードが正常に動作しているか確認してく ださい。
- CPUブレードでDVD/USB接続機器を操作しているときにDVD/USB切り替えを行う と誤動作する可能性があります。CPUブレードでの操作を終了してから切り替えを行っ てください。
- CPUブレードの起動中にDVD/USBを接続したり、切り離したりしないでください。
 CPUブレードが正常に起動できない場合があります。

Blade Control Menu

[Blade Selection Menu]のBlade Name表示部で操作したいCPUブレード名をカーソルで選択し<Enter>キー押下することで、[Blade Control Menu]を起動することができます。

起動時にパスワード入力ウィンドウが表示され、パスワード入力後[Blade Control Menu]が 表示されます。

		Blade Selection Menu		
Rack Enclos KVM - Slot1	Name ure Name DVD/USB EM Slot1	: Default_Rack_Name : Default_Chassis_Name Power Blade Name ON (Blade-O1)		
Slot2 Slot3 Slot4 Slot5 Slot6 Slot7	Slot2 Slot3 Slot4 Slot5 Slot6 Slot7	ON Blade-03 OFF Blade-04 ON Blade-05 OFF Blade-06 OFF Blade-07		
Slot8 †↓:Sele F1:OSD ▶ :Curs	Slot8 Slot8 NONE Blade-O8 †⊥:Select, ↔:KVM/DVD/Blade Select, Enter:Set, Esc:Exit F1:OSD Setup ▶ :Cursor Position			



パスワード保護されたコントロールメニューを表示する場合、パスワード入力ウィンドウが 表示されます。

_			
Enter	Password	*****	

パスワードをキーボードから入力し、設定されているパスワードと一致した場合、各コント ロールメニューを表示します。パスワード未設定の場合は、パスワード未入力で<Enter>キー 押下で、各コントロールメニューを表示します。パスワード不一致の場合は[Blade Selection Menu]に戻ります。



出荷時設定はパスワード未設定です。後述する「OSDパスワードの設定」を参照し、パスワードを変更してください。

パスワード不一致の場合、下記のエラーが表示されます。 <Esc>キー押下で[Blade Selection Menu]に戻ります。

[Blade Conti





選択されたCPUブレードのスロット番号/状態/名称が表示されます

メニュー項目

項目	機能
1 : Change Blade Name	選択して <enter>キー押下、または、<1>キー押下で、Blade Name入力ウィンド ウを表示します。</enter>
2 : Push Power Button	選択して <enter>キー押下、または、<2>キー押下で、EMカードからPOWERス イッチ押下に相当する処理を行います。</enter>
3 : Push Power Button and Hold	選択して <enter>キー押下、または、<3>キー押下で、EMカードからPOWERス イッチ4秒以上押下に相当する処理を行います。</enter>
4 : Push Reset Button	選択して <enter>キー押下、または、<4>キー押下で、EMカードからRESETス イッチ押下に相当する処理を行います。</enter>
5 : Push Dump Button	選択して <enter>キー押下、または、<5>キー押下で、EMカードからDUMPスイ ッチ押下に相当する処理を行います。</enter>
6 : Push ID Button	選択して <enter>キー押下、または、<6>キー押下で、EMカードからID スイッ チ押下に相当する処理を行います。</enter>

*1: [2]~[6].の各メニューの実行はEMカードが制御します。EMカードが正しく接続されていな いか正常に動作していない場合はエラーメッセージを表示します。



Express5800/120Bb-m6のような2スロット幅を占有する CPUブレードを実装した 場合、実装した右側のスロットでは使用できません。左側のスロットのメニューで実行して ください。

CPUブレード名の変更

[Blade Control Menu]で「1: Change Blade Name」を選択して<Enter>キー押下、または、<1>キー押下するとBlade Name入力ウィンドウが下記のように表示されます。

Enter Blade Name	₿lade-01	

現在のCPUブレード名が表示されますのでキーボード入力によって名称を変更します。 <Enter>キー押下で入力を確定します。CPUブレード名に使用できない文字が含まれている 場合、または、null(名称なし)の場合はエラーを表示します。変更しない場合は<Esc>キー押下 で[Blade Control Menu]に戻ります。



使用可能な文字は、'A'~'Z'、'a'~'z'、'0'~'9'、'-'(ハイフン)です。 登録可能文字数は最大32文字です。文字入力時は下記のキーが使用できます。

使用キー	機能
<enter>‡—</enter>	入力を確定します。
<esc>+-</esc>	入力を中止します。 入力した文字は破棄され名称は変更されません。
<←><→>‡−	カーソルを移動します。
<insert>+-</insert>	文字の挿入モード/上書きモードを切り替えます。 挿入モード時 : カーソルがマゼンタ色で表示されます。 上書きモード時 : カーソルが黄色で表示されます。
<delete>=-</delete>	カーソル位置の文字を1文字削除します。
<back space="">+-</back>	カーソルの1つ前の文字を1文字削除しカーソルを移動します。

CPUブレード名に使用できない文字が含まれている場合、下記のエラーを表示します。 <Esc>キー押下で[Blade Control Menu]に戻ります。





CPUブレードを実装していないスロット、もしくは2スロット幅を占有するCPUブレード を実装した右側のスロットのCPUブレード名は変更しても初期値に戻ります。

CPUブレードの操作

[Blade Control Menu]でメニュー番号[2]~[6]を選択した場合、CPUブレードの操作要求を EMカードに通知し、EMカードがCPUブレードの操作を実行します。

「2:Push Power Button」 CPUブレードのPOWERスイッチ押下に相当する処理を行います。

「3:Push Power Button and Hold」 CPUブレードのPOWERスイッチ4秒以上押下に相当する処理を行います。

「4:Push Reset Button」 CPUブレードのRESETスイッチ押下に相当する処理を行います。

「5:Push Dump Button」 CPUブレードのDUMPスイッチ押下に相当する処理を行います。

「6:Push ID Button」 CPUブレードのIDスイッチ押下に相当する処理を行います。

EMカードへの操作要求が正常に受け付けられた場合、下記のように表示されます。



EMカードへの操作要求が正常に受け付けられなかった場合、下記のエラーを表示します。 <Esc>キー押下で[Blade Control Menu]に戻ります。





CPUブレードの操作要求でエラーとなった場合はEMカードまたはCPUブレードが正常に 動作しているか確認してください。

Rack Control Menu

[Blade Selection Menu]でRack Name表示部をカーソルで選択し、<Enter>キー押下、または、<R>キーを押下することで、[Rack Control Menu]を起動することができます。起動時にパスワード入力ウィンドウが表示され、パスワード入力後[Rack Control Menu]が表示されます。







ラック名の変更

[Rack Control Menu]で「1: Change Rack Name」を選択して<Enter>キー押下、または、<1>キー押下するとRack Name 入力ウィンドウが下記のように表示されます。



現在のラック名が表示されますのでキーボード入力によって名称を変更します。<Enter>キー 押下で入力を確定します。ラック名に使用できない文字が含まれている場合、エラーを表示し ます。ラック名にはnull(名称なし)も設定可能です。その場合は全ての文字を削除して<Enter> キーを押下します。変更しない場合は<Esc>キー押下で[Rack Control Menu]に戻ります。



使用可能な文字は、'A'~'Z'、'a'~'z'、'0'~'9'、'-'(ハイフン)、'.'(ピリオド)、'_'(アン ダースコア)です。登録可能文字数は最大32文字です。キー操作は前述の「CPUブレード名の 変更」を参照してください。

ラック名に使用できない文字が含まれている場合、下記のエラーを表示します。<Esc>キー押下で[Rack Control Menu]に戻ります。



Enclosure Control Menu

[Blade Selection Menu]でEnclosure Name表示部をカーソルで選択し、<Enter>キー押下、 または、<E>キーを押下することで、[Enclosure Control Menu]を起動することができます。 起動時にパスワード入力ウィンドウが表示され、パスワード入力後[Enclosure Control Menu]が表示されます。

Enclos	ure Name	Defau Defau Power	ult_Rack_Name ult_Chassis_Name Blade Name
- Slot1 Slot2 Slot3 Slot4 Slot5 Slot6 Slot7 Slot8	EM Slot1 Slot2 Slot3 Slot4 Slot5 Slot6 Slot7 Slot8	- ON OFF ON OFF OFF NONE	- Blade-01 Blade-02 Blade-03 Blade-04 Blade-05 Blade-05 Blade-07 Blade-08
†∔:Sele F1:OSD ▶ :Curs	ct, ↔:K Setup or Posit	/M/DVD, ion	/Blade Select, Enter:Set, Esc:Exit



[Enclosure Control Menu]を起動すると下記のように表示されます。 <Esc>キー押下で[Blade Selection Menu]に戻ります。

	Enclosure Control Menu
Rack	Name: Default_Rack_Name
Enclosure	Name: Default_Chassis_Name
: Change	Enclosure Name
†↓:Select,	Enter:Set, Esc:Exit
∶Cursor I	Position

ブレード収納ユニット名の変更

[Enclosure Control Menu]で「1: Change Enclosure Name」を選択して<Enter>キー押下、 または、<1>キー押下するとEnclosure Name入力ウィンドウが下記のように表示されます。



現在のブレード収納ユニット名(エンクロージャ名)が表示されますのでキーボード入力に よって名称を変更します。<Enter>キー押下で入力を確定します。ブレード収納ユニット名(エ ンクロージャ名)に使用できない文字が含まれている場合、または、null(名称なし)の場合はエ ラーを表示します。変更しない場合は<Esc>キー押下で[Enclosure Control Menu]に戻り ます。



使用可能な文字は、'A'~'Z'、'a'~'z'、'0'~'9'、'- '(ハイフン)、'.'(ピリオド)、'_'(アン ダースコア)です。登録可能文字数は最大32文字です。キー操作は前述の「CPUブレード名の 変更」を参照してください。

ブレード収納ユニット名(エンクロージャ名)に使用できない文字が含まれている場合、下記のエラーを表示します。<Esc>キー押下で[Enclosure Control Menu]に戻ります。



On Screen Display(OSD) Setup Menu

[Blade Selection Menu]で<F1>キーを押下することで[OSD Setup Menu]を起動すること ができます。[OSD Setup Menu]を起動すると下記のように表示されます。<Esc>キー押下 で[Blade Selection Menu]に戻ります。

On Screen Display Setup Menu
Rack Name: Default_Rack_Name Enclosure Name: Default_Chassis_Name
1: Hot Key Select 2: Keyboard Setup :JPN 3: Change Password
1∔:Select, Enter:Set, Esc:Exit ∶Cursor Position

OSDホットキーの設定

[OSD Setup Menu]で「1:Hot Key Select」をカーソルで選択して<Enter>キー押下、または、<1>キー押下すると[Hot Key Select]メニューが下記のように表示されます。

On Screen Display Setup Menu Rack Name: Default_Rack_Name Enclosure Name: Default_Chassis_Name
1: Hot Key (Ctrl x 2) : ON 2: Hot Key (CapsLock x 2) : ON 3: Hot Key (Ctrl+Alt+Shift) : ON 4: Hot Key (Scroll x 2) : ON
11:Select, Enter:Set, Esc:Exit :Cursor Position

カーソルでメニュー番号を選択して<Enter>キーを押下、または、数字<1>~<4>キー押下により各ホットキー設定のON(有効)/OFF(無効)を変更します。<Esc>キー押下で[OSD Setup Menu]に戻ります。

項目	説明
1: Hot Key (Ctrl x 2)	<ctrl>キーを2回押下するホットキーの設定です。 このホットキーでOSD簡易モードを起動します。</ctrl>
2:Hot Key (CapsLock x 2)	<caps lock="">キーを2回押下するホットキーの設定です。 このホットキーでOSD簡易モードを起動します。</caps>
3: Hot Key (Ctrl+Alt+Shift)	<ctrl>, <alt>, <shift>キーを同時に押下するホットキーの設定です。 このホットキーでOSDメニューモードを起動します。</shift></alt></ctrl>
4: Hot Key (Scroll x 2)	<scroll lock="">キーを2回押下するホットキーの設定です。 このホットキーでOSDメニューモードを起動します。</scroll>



出荷時の初期設定はすべてのホットキーがON(有効)となっています。オプションのサーバ スイッチユニットを接続し、サーバスイッチユニット側で同じホットキーを使用する場合、 有効なキーが重複しないように設定してください。

ホットキーと同じキーがアプリケーション等で重複して使用されている場合、有効なキーを 選択して回避してください。

設定を変更した場合、[OSD Setup Menu]を終了する際に保存確認が表示されます。「保存 しない」を選択した場合は以前の設定に戻ります。

キーボードタイプの設定

[OSD Setup Menu]で「2:Keyboard Setup」をカーソルで選択して<Enter>キー押下、または、<2>キー押下すると[Keyboard Type]設定ウィンドウが下記のように表示されます。



<←><→>キーでカーソルを移動し、<Enter>キー押下により選択したキーボードタイプに設 定を変更します。<Esc>キー押下すると設定を変更しないでウィンドウを閉じます。

選択可能な設定は2つです。

JPN: 日本語キーボード US: 英語キーボード



初期設定はJPN(日本語キーボード)です。

|**, , -**0 | 重要

設定を変更した場合、[OSD Setup Menu]を終了する際に保存確認が表示されます。「保存 しない」を選択した場合は以前の設定に戻ります。

OSDパスワードの設定

[OSD Setup Menu]で「3:Change Password」をカーソルで選択して<Enter>キー押下、または、<3>キー押下するとパスワード入力ウィンドウが下記のように表示されます。



現在のパスワードを入力し、<Enter>キーを押下します。パスワードが一致した場合、新しいパ スワードの入力に進みます。中止する場合は<Esc>キーを押下すると[OSD Setup Menu]に 戻ります。



新しいパスワードを入力し、<Enter>キーを押下します。正しく入力された場合、確認入力に進みます。中止する場合は<Esc>キーを押下すると[OSD Setup Menu]に戻ります。



パスワードに使用可能な文字は'A'~'Z'、'a'~'z'、'0'~'9'、'-'(ハイフン)です。パスワー ドの登録可能文字数は最大15文字です。



新しいパスワードを再度入力し、<Enter>キーを押下します。正しく入力された場合、パスワードが変更されます。

現在のパスワードが不一致の場合、または、新しいパスワードに使用できない文字が含まれている場合、下記のエラーを表示します。<Esc>キー押下でパスワード入力ウィンドウに戻ります。



新しいパスワードと確認パスワードが不一致の場合、下記のエラーを表示します。<Esc>キー 押下で[OSD Setup Menu]に戻ります。





OSDの設定保存

[OSD Setup Menu]終了時にセットアップに変更があった場合、保存確認が表示されます。 保存する場合は、<Y>キーを押下します。保存しない場合は、<N>キー、または、<Esc>キーを押 下します。保存したセットアップ情報はブレード収納ユニットの電源がOFFになっても保持 されます。保存しない場合は変更した設定は破棄され、以前の設定に戻ります。

Save setup changes? Press [Y/N]

OSD簡易モード

OSD簡易モードでは現在KVM接続が選択されているCPUブレードの名称を画面左上に表示し、キーボード入力によってKVMの切り替えを行います。

1	В	ade-01	
			-

OSD簡易モードの起動

キーボードからホットキーを入力し、OSD簡易モードを起動します。 ホットキーの設定はOSDメニューモード、またはSIGMABLADEモニターのOSDセットアップメ ニューで変更可能です。

● ホットキー選択可能キー

OSDメニューモードを起動するホットキーは下記の2種類から選択できます。 <Ctrl>キーを2回連続で押下して離す(キーは素早く押してください) <CapsLock>キーを2回連続して押下して離す(キーは素早く押してください)

● 操作タイムアウト

約1分以上キーボード操作がない場合、簡易モードを終了します。



OSD簡易モード動作中はOSDの操作にキーボードを使用しますので、CPUブレードで動作しているオペレーティングシステムなどをキーボードで操作することはできません。操作する場合はOSD簡易モードを終了してください。マウスによる操作はOSD簡易モード動作中も可能です。

OSD簡易モードの操作

OSD簡易モードではKVM選択の切り替え、サーバ名常時表示モードの設定変更を行います。 OSD簡易モードを起動すると画面左上に、KVMが接続されているCPUブレードの名称を表示しま す。

背景:マゼンタ色、文字:白色

<Esc>キー押下すると切り替えを行わないで簡易モードを終了します。

KVMの切り替え

数字キー <1>~<8>を押下することで、入力したスロット番号のCPUブレードにKVM接続 を切り替えます。KVMの切り替えが終了すると背景が青色に変わり、約3秒後にOSD簡易モー ドを終了します。

サーバ名常時表示モードがONの場合は、サーバ名常時表示モードによるOSD表示に切り替わります。現在選択されているCPUブレードのスロット番号を選択した場合は無効です。<Esc>キー押下すると切り替えを行わないで簡易モードを終了します。

サーバ名常時表示モードの設定変更

<A>、または、<D>キーを押下することで、サーバ名常時表示のON/OFF状態を反転します。変 更後、OSD簡易モードを終了します。サーバ名常時表示がONに設定された場合、簡易モード終 了後にサーバ名常時表示モードに切り替わります。サーバ名常時表示がOFFに設定された場 合、簡易モード終了後にOSD表示を終了します。<Esc>キー押下すると切り替えを行わないで 簡易モードを終了します。

サーバ名常時表示モード

サーバ名常時表示モードでは現在KVM接続が選択されているCPUブレードの名称を画面左上に表示します。

背景:青色、文字:白色

サーバ名常時表示モード動作中もホットキー入力によってOSDメニューモード、OSD簡易モードを 起動することができます。

Blade-01

サーバ名常時表示モードの起動

前述の「サーバ名常時表示モードの設定変更」を参照してください。OSD簡易モードでサーバ名常時 表示モード設定をONに変更して簡易モードを終了するとサーバ名常時表示モードになります。サー バ名常時表示モードを終了する場合、OSD簡易モードを起動してサーバ名常時表示モードをOFFに 変更します。

~Memo~